気象庁
Japan Meteorological Agency

お　知　ら　せ

平成 30 年 3 月 1 日
福 岡 管 区 気 象 台

2018 年の九州北部地方（山口県を含む）の冬の低温
～この冬は 32 年ぶりの低温～

○2018 年冬（2017 年 12 月～2018 年２月）の九州北部地方地域平均気温平年差は、-1.3℃と低くなり、32 年ぶりの低温となりました。
○山口市徳佐（アメダス）では、２月８日に日最低気温-16.0℃を観測し、観測開始（1977 年）以来、最も低い日最低気温となりました。
○大分県杵築（アメダス）では、２月７日に日最低気温-6.7℃を観測し、観測開始（1978 年）以来、２月では最も低い日最低気温となりました。

＜概況＞

2017 年 12 月以降、全国的に気温がしばしば低くなり、寒気の流入のピーク時には大雪となった所もありました。九州北部地方では 12 月から２月にかけて、北からの寒気が流れ込み低温になりました。要因としては偏西風（亜熱帯ジェットや寒帯前線ジェット）の蛇行等が考えられますが、その他にラニーニャ現象の影響により、インドネシア付近の積雲対流活動が活発化して偏西風（亜熱帯ジェット気流）の蛇行をさらに強化し、日本付近に寒気が流れ込みやすくなったことが考えられます（別紙参照）。

このため、九州北部地方では、地域平均気温平年差が-1.3℃と低く、32 年ぶりの低温となりました（表１、別紙参照）。山口市徳佐（アメダス）では、２月８日に日最低気温-16.0℃を観測し、観測開始（1977 年）以来、最も低い日最低気温となりました。また、大分県杵築（アメダス）では、２月７日に日最低気温-6.7℃を観測し、観測開始（1978 年）以来、２月では最も低い日最低気温となりました。

表１　九州北部地方の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

	平均気温平年差 (℃)	降水量平年比 (%)	日照時間平年比(%)
2017 年 12 月	かなり低い (-1.7)	かなり少ない (39)	少ない (86)
2018 年　1月	低い (-1.0)	多い (123)	平年並 (95)
2月	低い (-1.4)	平年並 (79)	平年並 (102)
冬 (12 月～2月)	低い (-1.3)	平年並 (83)	少ない (95)

問合せ先：福岡管区気象台気象防災部
地球環境・海洋課　担当：田代・高野
電話 092-725-3613（内線 3610・3611）　FAX　092-761-1726

別紙

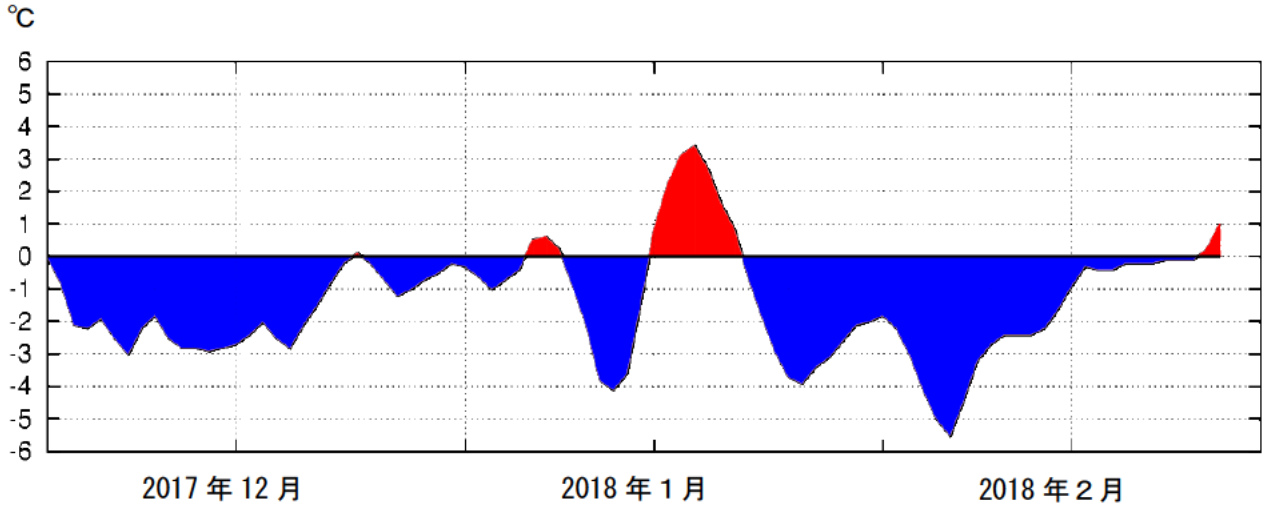

図１　九州北部地方地域平均平年差（℃）の５日移動平均時系列図

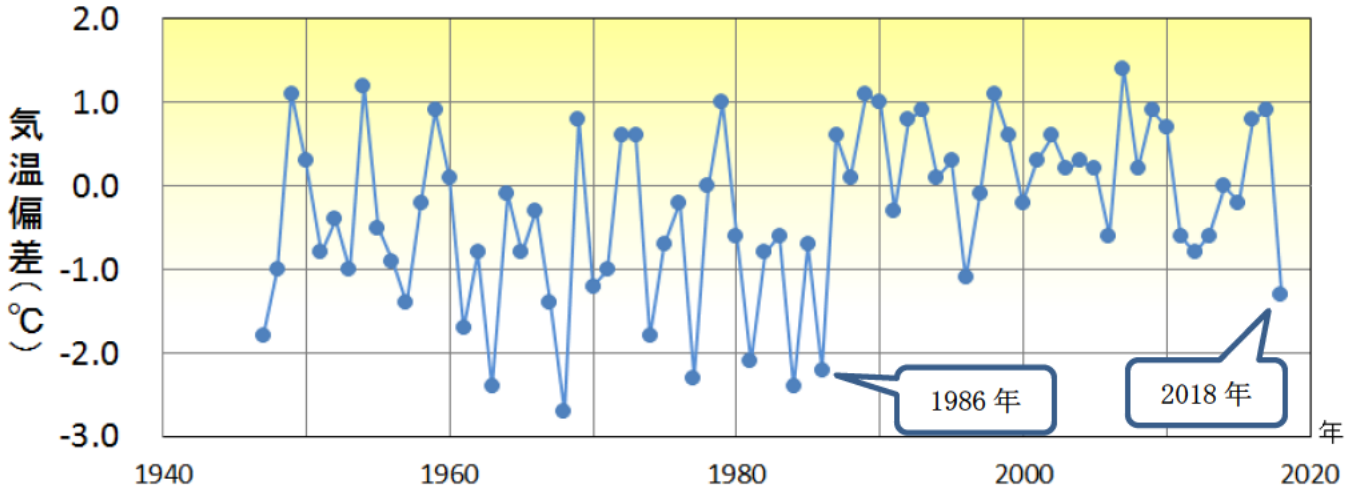

図２　冬（12～２月）の九州北部地方地域平均気温差の経年変化
（統計期間：1946～2018 年）

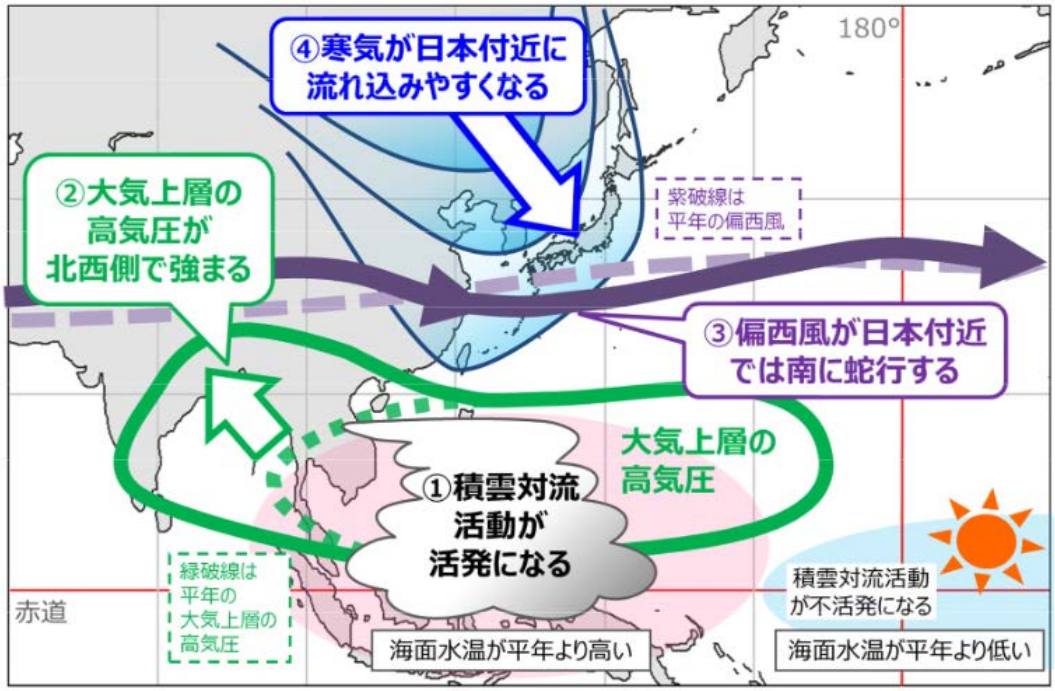

図３ 2017 年 12 月以降の平均的な大気の流れに対するラニーニャ現象の影響に関する模式図
（平成 30 年２月 15 日気象庁報道発表資料より抜粋）

（説明）以下の〇数字は、図中の〇数字に対応している。

① ラニーニャ現象に伴い西部太平洋熱帯域で海面水温が高くなり、インドネシア付近では積雲対流活動が平年よりも活発になる。

② ①の積雲対流活動の活発化により、フィリピン東方沖から南シナ海付近の大気上層に位置する高気圧が、その北西側で強まる。

③ ②の高気圧の強まりにより偏西風（亜熱帯ジェット気流）が蛇行し、日本付近では南に蛇行する。

④ ③の日本付近における偏西風（亜熱帯ジェット気流）の南への蛇行により、大陸からの寒気が日本付近に流れ込みやすくなる。